

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 10 月 15 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/15 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m ³ /h	27.3	3.2 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	34.3	5.65 kPa g	A系： 0.08 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.08 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	32.9	0.20 kPa g	A系： 0.07 Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.06 Vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/15 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	23.5
2号機	循環冷却システム	運転中	21.5
3号機	循環冷却システム	運転中	20.2
4号機	循環冷却システム	運転中	19.7

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘッドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	10/2 11:07 ~ 10/11 9:05 移送実施
		3号機タービン建屋	10/11 10:46 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	10/11 10:05 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (10/15 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

・H26/8/20 ~ 今後、設置が計画されている高性能多核種除去設備の除去性能及び吸着材の交換周期等を検証するため、検証試験装置を用いて、実液通水による検証試験を実施。試験期間は3ヶ月程度を予定。

< 5. その他 >

・H26/1/29 ~ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管

およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。

7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。

8/12～ ドライアイスを追加で投入開始。

10/16～ 2号機開削ダクトより間詰め充填工事を開始する予定。また、2号機立坑Aについては、10/20より間詰め充填工事を開始する予定。

・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。

6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。

10/3～ 凍土遮水壁造成工事における凍結管設置に伴い、埋設物(トレンチ等)を貫通させて凍結管を設置する箇所を対象に、事前の溜まり水調査を開始。

・H26/8/29 12:45頃 3号機使用済燃料プール内瓦礫撤去作業において、燃料交換機の操作卓をクレーンにてつり上げるため専用治具で操作卓をつかもうとしたところ、操作卓が当該プール東側中央付近に落下。落下した燃料交換機の操作卓は、燃料ラック上部に設置してある養生材(鉄板高さ30cm程度)と、当該プール内の瓦礫の間に落下していることを確認。

なお、使用済燃料プール水の放射能分析結果が前回と比較して有意な変動がないことと、プラントパラメータに有意な変動がないことから、燃料破損等の兆候は確認されていない。

< 使用済燃料プール水の放射能分析の結果(採取日:10/15) >

・セシウム 134: 3.0×10^2 Bq/cm³

・セシウム 137: 9.6×10^2 Bq/cm³

・コバルト 60: 検出限界値未満(検出限界値: 1.2×10^0 Bq/cm³)

・原子炉圧力容器・格納容器内の臨界(核分裂反応)を防止する、または未臨界にするために設置している1～3号機のほう酸水注入設備のうち、ほう酸水タンクA・Bについては、現在アスファルト上に直接設置している。万が一ほう酸水タンクに漏えいが発生した場合、貯蔵しているほう酸水が地下に浸透する可能性があることから、地下への浸透を防止する対策として、当該タンクに隣接するエリアにコンクリート製の堰(耐薬品性の塗料を塗布)を設置し、今後ほう酸水タンクA・Bを順次堰内に移設する。10/15 12:44 から、堰内への移設が終了したほう酸水タンクB(予備)に同タンクAに貯蔵しているほう酸水の移し替え作業を開始。

ほう酸水の移し替え作業時においては、特定原子力施設の保安第1編第23条に定める運転上の制限「ほう酸水タンクの水位及び温度が管理範囲内にあること」を一時的に満足できない状態となることから、特定原子力施設の保安第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に作業を実施する。

なお、堰内へほう酸水タンクA・Bの移設作業が終了する11月中旬頃、ほう酸水タンクBに移し替えたほう酸水を、ほう酸水タンクAに戻す作業を実施予定。

【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 10/4]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、10/13 10:10、海洋への排水を開始。10:15に漏えい等の異常がないことを確認。同日 16:10、排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。なお、排水量は1,512m³。

【H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< H6エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。